

曾於市
Soo CITY
話題の広場
Topics



新緑の悠久の森等をガイド付きで散策



5月23日(日)、曾於市観光特産開発センターは、観光ボランティアガイド付きの「新緑の悠久の森・大川原峡・桐原の滝散策ツアー」を総勢60人(スタッフも含む)で行いました。

最初に散策した大川原峡は、岩・水・植物の織りなす美しい渓谷を、全国遊歩百選の森に認定されている悠久の森では様々な植物を、ミズノスポーツのロケが行われた桐原の滝では、岩肌を流れ落ちる水しぶきを心ゆくまで堪能しました。また、幸いにもこの日は甘酸っぱい香りのするエゴノキや数種類のウツギの花が満開で、加えて幽霊茸と言われるギンリョウソウも見られ最高でした。

さらに、観光ボランティアガイドによる植物等の詳細な説明では、「植物について勉強になった」、新たに開発した地元食材による「おばちゃん弁当」については、「愛情ある弁当に満足した」と大好評でした。

財部 J'S (ジェイズ) 全日本学童軟式野球大会へ



5月に枕崎市で開催された高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会鹿児島県大会で、財部 J'S が初優勝の栄冠を勝ち取りました。

各県代表が出場する全国大会は、8月9日～15日にかけて神宮球場をメインに開催されます。

県大会優勝報告に市長室を訪問した選手に対して、「財部からは、中崎兄弟がプロ野球選手として頑張っています。みんなも一生懸命練習して、野球を通して素晴らしい人間に成長してください。」と、市長から激励の言葉がかけられました。

これに対し、主将の西山将太くん(6年)は、「みんなの力を合わせて週4回一生懸命練習して、初戦突破をしたいと思います。」と、力強く語りました。

全国大会での活躍を祈ります。

皆が元気で長生きを 薬草研究会



6月6日、薬草研究会の皆さんが、旧末吉駅前の花壇に薬草の植付を行いました。

この研究会は、薬草の活用法や効能を研究し知って頂くことで、自分達や地域の方々に健康な毎日をおくって頂く事を目的に設立されたもので、今年で9年目を迎えます。

当日は、小雨まじりのあいにくの天気でしたが、会員や市役所の職員総勢12名で手際よく作業をされていました。

会長の原口国市さんは、「会員やその他の方々にも薬草の効能を十分理解して頂き、皆が健康で長生きできることが目標です。」と笑顔でおっしゃっていました。

研究会では、随時会員を募集しています。興味のある方は、原口国市さん(Tel 76-0273)までお問い合わせ下さい。

悠久の駅舎にウッドデッキ設置



大隅大川原駅舎落成一周年を記念に地元の有志で、樹齢80年生の銀杏のまわりにウッドデッキを作成しました。

大川原駅は、周辺に悠久の森をはじめ、清流の森大川原キャンプ場、曾於地区で一番高い白鹿岳(標高603.9m)等があり、曾於市の北の玄関口として、重要な位置にあります。

ウッドデッキの材料は、地元企業(前田産業)から提供を頂き、ボランティアグループ「ふるさとを思いやる会 芝楽会」が中心に財部北小、北中学校の支援のもと、完成しました。JRを利用される人、地域住民のいこの広場として駅前の活性化に寄与することが期待されます。

河川浄化に貢献



財部町田平自治会にお住まいの坂元瑞穂さんが大淀川水系水質汚濁防止対策連絡協議会が贈る、功労者表彰を受賞されました。

この賞は、坂元さんが長年にわたり河川浄化推進員として、河川監視はもちろんのこと、大淀川河川敷の草払いやごみ拾いなど、河川環境向上や地域住民の環境意識高揚に熱心に取り組まれたことが高く評価されての受賞です。

坂元さんにお話を聞くと「私は魚釣りが趣味で、特別なことをしたわけではなく、毎日の日課として河川の監視を続けてきました。このことで大変名誉な賞をいただき大変有り難く光栄です。これを励みとして、これからも環境保護のため、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張っていきたい。」と話されました。

日頃の備えが防犯につながります



地域安全運動期間中の5月19日、曾於市内のコンビニエンスストアで強盗の対応訓練が行われました。事件を想定した訓練でありながらも、強盗に扮した警察官の迫真の演技に店内は緊張感が漂い、現実には事件に遭遇したらと恐怖を感じさせる訓練となりました。

訓練では、犯人の特徴や服装を確認して警察署に通報するまでの一連の訓練や、凶器から身を守るための防護の方法、事件解決に効果を発揮するカラーボールの使用法などについて警察署員から指導を受けました。

曾於警察署生活安全刑事課長代理の畦浦悟志さんは「防犯ビデオや防犯ベルの取り付け、来客者への声かけなど、犯罪を起こすことができない雰囲気作りや、もしもの時に慌てず対処できるための備えが大切です。また、防犯の取り組みや今回のような訓練がいろいろなところで行われていることを公開し広報することも犯罪を未然に防ぐことにつながります」と話されました。

曾於市総合大学の「楽しい山行（やまゆき）」



「つつじヶ丘」のミヤマキリシマを見学

曾於市総合大学の「楽しい山行」を開講しました。

この講座は、登山の基礎を学び、楽しい登山を通して霧島山の歴史や自然に触れることを目的としています。

本講座にジオパークの広報と活用を推進する立場で参加されている曾於市観光特産開発センターの吉川所長さんは、「昨年日本ジオパークに認定された霧島ジオパークですが、さらに深く理解し、観光や教育など地域づくりへの活用を推進しなければ、認定が取り消されることもあります。その意味で私共ももっと強く広報をしていきたい」とおっしゃっていました。

当日は、霧島ジオパークについての講義後、あいにくの雨の中、ミヤマキリシマが自生する「つつじヶ丘」の散策、次いで本番の蝦野岳登山を行い、平地では見られないミヤマキリシマ、ナナカマド、灰の木等の花を楽しむことができ、参加者は一様に生き生きしていました。

今後、多くの曾於市民が霧島ジオパークのことを学び、何らかの関わり・活動をしていけば、世界ジオパーク認定も実現するのではないのでしょうか。

「父の日」にかわいい笑顔と乳(牛乳)のプレゼント



6月19日、末吉中央幼稚園で「父の日」に乳(牛乳)をプレゼントするイベントがありました。

これは、鹿児島県酪農協同組合が主催する牛乳消費拡大キャンペーンの一環で行われたもので、牛乳の他にもヨーグルトや消しゴム、バッジ・啓発チラシなど牛乳の効能をより知っていただきたいとの願いで提供されたものです。

お父さん方は、可愛いわが子からのプレゼントに顔をほころばせながら体一杯で子供達を抱きしめ、愛情溢れる様子がとても印象的でした。

年長さんの小園千琉君(6歳)は、「大好きなお父さんに毎日元気で頑張ってくれてありがとうと言いました。僕も牛乳をたくさん飲んで大きくなります」と愛らしい笑顔で話してくれました。